



平成 29 年 9 月 13 日

各 位

会 社 名 株式会社 スマートバリュー  
代 表 者 名 代表取締役社長 渋谷 順  
(コード番号：9417)

問 い 合 っ せ 先 経営企画 藤 原 孝 高  
Division Manager

TEL. 06-6448-1711

### 特別損益の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 9 月 13 日開催の取締役会において、データセンターファシリティの譲渡に伴う特別利益の計上と、大手事業者のデータセンターの利用への移行に伴う特別損失の計上及び最近の業績動向を踏まえ、平成 29 年 8 月 14 日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 業績予想の修正について

平成 30 年 6 月期第 2 四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成 29 年 7 月 1 日～平成 29 年 12 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	3,375	45	44	26	12.39
今回修正予想 (B)	3,397	103	103	201	92.69
増減額 (B-A)	21	58	58	174	
増減率 (%)	0.6	128.6	130.0	648.2	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 29 年 6 月期第 2 四半期)	3,174	32	33	21	9.38

平成 30 年 6 月期通期個別業績予想数値の修正(平成 29 年 7 月 1 日～平成 30 年 6 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	7,433	366	369	221	101.95
今回修正予想 (B)	7,297	368	371	376	173.43
増減額 (B-A)	△136	1	1	155	
増減率 (%)	△1.8	0.5	0.5	70.1	
(ご参考) 前期実績 (平成 29 年 6 月期)	6,539	274	275	180	80.12

## 2. 修正の理由

クラウドソリューション事業、モバイル事業ともに、売上原価削減の徹底が売上総利益の改善に寄与し、さらに人件費等のコストコントロールの強化により販売費及び一般管理費が、当初想定を下回って推移しております。

第2四半期においても、第1四半期と同様の傾向が継続するものと見込んでおり、営業利益、経常利益及び四半期純利益が前回予想を上回る見込みとなりました。

また、当社は今後益々広範化・複雑化するクラウド化ニーズに、より適切に対応するため、コアコンピタンスに経営資源を集中すべく事業の見直しを進めてまいりました。

当社の更なる成長に向けた中長期的視点での事業構造改革の一環として、データセンター事業の戦略の見直しを行い、将来におけるデータセンターの設備更新・拡張性や効率性を勘案し、今後は自社保有のデータセンターによるサービス提供ではなく、大手事業者のアウトソーシングを活用し、クラウド事業のサービスレベルの維持・向上を進めていくことが、お客様のニーズにお応えする最適なソリューションの提案につながるとの判断に至り、本日「固定資産の譲渡及び特別損益の計上」で別途公表しましたとおり、データセンターファシリティの譲渡を行うことといたしました。

上記のデータセンターファシリティの譲渡に伴い、固定資産売却益約343百万円を特別利益として計上し、事業再編費用等約131百万円を特別損失として計上いたします。

以上の理由により、第2四半期（累計）の業績におきましては、前回予想数値を上回る見込みとなったため業績予想数値を上方修正いたします。

なお、平成30年6月期通期業績予想につきましては、大手事業者のデータセンターの利用への移行期間中の既存顧客対応に注力するため、当初想定していた新規顧客受注の見直しを行っております。

業績動向の不確実性を考慮し、当該受注見直し、データセンターファシリティの譲渡に伴う特別利益の計上及び大手事業者のデータセンターの利用への移行に伴う特別損失の計上の影響のみを加味して業績予想数値の修正をしております。

また、今後の業績動向の状況等を踏まえ、通期業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

(注) 上記に記載した予想数値は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後、様々な要因によって上記予想数値と異なる可能性があります。

以上